

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 75 問で解答時間は正味 1 時間 20 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には 1 から 4 までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) 〔問題 101〕 県庁所在地はどれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ のうち③をマークして

101 ① ② ● ④ とすればよい。

- (2) 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)

悪い解答の例…… ○ ⊖ (解答したことにならない。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「✕」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) 1 問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 我が国の昭和 20～30 年代初頭までの公衆衛生政策の基盤形成で正しいのはどれか。

1. 厚生省に衛生局を設置した。
2. 保健センターを対人保健サービスの拠点として新設した。
3. 保健所を人口 10 万人に対し 1 か所を目標に整備した。
4. 開拓保健婦を市町村が配置した。

〔問題 2〕 保健所保健師の活動時間の割合が最も大きいのはどれか。

1. 保健福祉事業
2. 地区管理
3. コーディネート
4. 教育・研修

〔問題 3〕 老人保健事業の第 4 次計画から取り組まれるようになった事業はどれか。

1. 大腸がん検診
2. 基本健康診査
3. B 型機能訓練事業
4. 個別健康教育

〔問題 4〕 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の制定および改正(平成 15 年 11 月)の背景で正しいのはどれか。

1. 人口の都市への集中に伴い大都市特有の感染症が増加した。
2. 予防接種に関する被接種者の義務規定が努力義務規定に緩和された。
3. 食生活の乱れから感染症に対する抵抗力の低下が顕著になった。
4. 国際化が進みさまざまな地域の感染症が持ち込まれる危険が高まった。

〔問題 5〕 昭和 46 年度(1971 年度)から平成 15 年度(2003 年度)までの年間労働時間の推移(事業所規模 30 人以上)で正しいのはどれか。

1. 年間所定外労働時間は増加している。
2. 年間所定内労働時間は横ばいである。
3. 平成 15 年度(2003 年度)の年間総実労働時間は平成 5 年度(1993 年度)より長い。
4. 年間総実労働時間が最も長いのは昭和 46 年度(1971 年度)である。

〔問題 6〕 自律訓練法で正しいのはどれか。

1. 身体を冷やして緊張を高める。
2. できた体験を書き出してプラス思考を強める。
3. 仰臥位で閉眼し自然に全身の力を抜く。
4. 心拍数を器械でセルフモニターする。

〔問題 7〕 Aさんは指示された運動をきちんと行っている。

Aさんの行動はどれか。

1. コーピング行動
2. ヘルピング行動
3. コンプライアンス行動
4. ウェルネス行動

〔問題 8〕 50歳の女性。BMI 27で運動習慣がなく甘い物が好きである。

減量に向けた保健指導で適切でないのはどれか。

1. 「ここ数日の行動を書き出してみよう」
2. 「BMIを2か月で22以下にしましょう」
3. 「1日に摂取する砂糖の量を記録してみよう」
4. 「日常でできる運動の消費カロリーを学んでいきましょう」

〔問題 9〕 50歳の男性。仕事のストレスからうつ的になり会社に出勤できなくなった。妻は気持ちが不安定になり、息子は母親が心配で不登校となった。

この家族の状況を理解する視点で適切なのはどれか。

1. 家族の発達課題
2. 家族システム理論
3. 家族ストレス対処理論
4. 家族のセルフケア機能

〔問題 10〕 家庭訪問の優先度が高いのはどれか。

1. 1か月の男児。出生通知連絡票に「出生体重2,200g。第1子。母乳の飲みが悪い」と記載があった。
2. 20歳の女性。母親から「半年位前から昼夜逆転の生活となり、大学に行かなくなった。病院に連れて行ったほうがよいか」と電話があった。
3. 35歳の男性。結核患者届出書に「肺結核ⅠⅢ、喀痰塗抹菌検査陰性。会社員。同居家族なし」と記載があった。
4. 40歳の女性。本人から「海外旅行から帰国後下痢が続いている。様子を見て大丈夫か」と電話があった。

〔問題 11〕 7 か月児の母親から夜泣きについて相談を受けた。

アセスメント項目で優先度が低いのはどれか。

1. 昼間の保育状況
2. 体重の変動
3. 就寝前の刺激要因
4. 全身の皮膚の状態

〔問題 12〕 高血圧で要指導と判定された人の健康学習を企画し、話し合いを行うことにした。

初回の導入で適切なのはどれか。

1. 体調不良の原因
2. 食事摂取量の実態
3. 普段の体調
4. 生活上の問題点

〔問題 13〕 母子健康手帳で、1 歳 6 か月ころの保護者の記録の項目にないのはどれか。

1. 自分でコップを持って水を飲めますか。
2. ままごと、ごっこ遊びなどができますか。
3. 食事やおやつの時間はだいたい決まっていますか。
4. 子育てについて困難を感じることはありますか。

〔問題 14〕 育児不安や心配が続き、育児の大変さを訴える母親のグループ活動の目的で最も重要なのはどれか。

1. 子どもの発育・発達の知識を共有する。
2. 子どもとの遊び方がわかる。
3. 他の母親との対話を通して自分の問題に気付く。
4. 地域の子育てに関する情報を交換する。

〔問題 15〕 「たばこを止めたいがなかなか踏み切れない」という人への保健師の助言で最も適切なのはどれか。

1. 「ニコチンパッチやニコチンガムを使えば容易に止められますよ」
2. 「どういうときに喫煙したくなるかメモしてみましょう」
3. 「このままでは肺癌になりますよ」
4. 「吸いたくなったらコーヒーでも飲んでみてはどうですか」

〔問題 16〕 高脂血症対策で社会に対する啓発普及(ポピュレーションアプローチ)を行う場合、対象で適切なのはどれか。

1. 基本健康診査の対象者
2. 基本健康診査で要指導の者
3. 基本健康診査で要医療の者
4. 基本健康診査の未受診者

〔問題 17〕 78歳の女性。他県の村で1人暮らしをしていたが、都市部に住む娘が心配して呼び寄せた。娘から「一生懸命世話をしているのに、部屋に閉じこもってばかりいて心配」と相談があった。

保健師の支援で適切なのはどれか。

1. 「県人会が半年後にあるので出かけてみましょう」
2. 「地域の食事会に参加してみましょう」
3. 「お母さんと一緒にできる趣味を作ってみましょう」
4. 「話し相手のボランティアに来てもらいましょう」

〔問題 18〕 高齢者の転倒予防教室のプログラムを作成することになった。

自己効力感を高めるための留意事項で適切なのはどれか。

1. 対象者が初めて行う運動は避ける。
2. 運動能力別にグループを作る。
3. 今までの転倒体験を出し合う機会を作る。
4. 各自の好きな飲み物が飲めるように用意する。

〔問題 19〕 10代、20代を中心としたひきこもりへの援助の原則で正しいのはどれか。

1. 本人との出会いから援助は開始となる。
2. 本人の了解を得た後に他機関と連携を図る。
3. 家族を支援の対象者として位置付ける。
4. 家族が既に行った対処を繰り返さない。

〔問題 20〕 精神障害者に関する近隣住民からの相談への対応で適切なのはどれか。

1. 精神障害者の治療状況を説明する。
2. 精神障害者に対する理解を求める。
3. 自傷他害のおそれがあるときは相談を断わる。
4. 精神障害者に精神鑑定の手続きをとる。

〔問題 21〕 43歳の男性。妻と小学生の娘2人との4人家族。1年前から飲酒による遅刻、欠勤が続いている。困った妻が相談のため保健所に来所した。

保健師の対応で正しいのはどれか。

1. 飲酒をしているときに本人の求めがあったら相談に応じる。
2. 飲酒による欠勤の職場への連絡は家族にさせる。
3. 断酒会の情報は本人の求めがあってから提供する。
4. 子どもたちに対人関係の問題が生じていないか確認する。

〔問題 22〕 新障害者基本計画の生活支援に関する施策の基本的方向で適切でないのはどれか。

1. 在宅サービスの充実
2. 経済的自立の支援
3. 施設サービスの拡充
4. 専門職種の養成・確保

〔問題 23〕 従業員 40 人の自動車販売店。保健センターの保健師に「交通事故で休職している 34 歳の整備士が復職を希望している。下半身麻痺があり、車椅子が必要らしい。どうしたらいいか」と上司から相談があった。

保健師の対応で適切でないのはどれか。

1. 慣れている休職前の仕事に戻すように助言する。
2. 通院のための時間確保を勧める。
3. 障害者雇用促進センターの相談窓口を紹介する。
4. 中途障害者作業施設設置等助成金制度の利用を勧める。

〔問題 24〕 脊髄小脳変性症の患者の交流会で誤っているのはどれか。

1. かかりつけ医に交流会開催の連絡をする。
2. 参加者の来所方法について検討する。
3. 身体的な機能の回復を目的として行う。
4. 参加者相互の交流を図る。

〔問題 25〕 58 歳の女性。3 年前から手の震えと突進現象とが出現し、パーキンソン病ヤールステージⅢと診断された。

利用できないのはどれか。

1. 老人保健法に基づく医療
2. 居宅生活支援費
3. 介護保険
4. 特定疾患治療研究費

〔問題 26〕 結核予防法第 35 条に基づく申請書が提出された。

入院中の患者との初回面接で最初に聞くのはどれか。

1. 本人が結核を感染させたおそれのある接触者を確認する。
2. 抗結核薬の副作用の知識を確認する。
3. 診断されたときに本人がどう感じたかを尋ねる。
4. 家族の健康状況を尋ねる。

〔問題 27〕 「初めて会った人と 1 週前にコンドームなしで性交渉を持った。エイズの感染が心配」という電話を受けた。

保健師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 「性交渉が 1 回であれば感染の心配はありません」
2. 「次回からコンドームを使えば安全です」
3. 「感染の機会から 8 週経過後に検査を受けてください」
4. 「早急に医療機関を受診してγグロブリンの投与を受けてください」

〔問題 28〕 歯科保健指導の組合せで正しいのはどれか。

1. 妊産婦 ————— 歯の治療は妊娠中を避け出産後に行う。
2. 幼 児 ————— 3 歳で子どもに歯ブラシを持たせる。
3. 壮年期 ————— 禁煙教育で歯周病予防に言及する。
4. 老年期 ————— 義歯は装着したまま口腔ケアを行う。

〔問題 29〕 人口10万人の市。昨年の高齢者虐待疑いの相談は4件で、いずれも訪問看護ステーションからであった。

対策のために保健師が行う情報収集活動で適切でないのはどれか。

1. 訪問看護ステーションの連絡会で高齢者虐待の勉強会の開催
2. 民生委員連絡会で高齢者虐待疑い事例の連絡の依頼
3. 市内の開業医との定期的な連絡会の活用
4. 老人クラブのメンバーに虐待の自記式アンケートの実施

〔問題 30〕 引継ぎを受けた地区のヘルスニーズを把握するために最初に行うのはどれか。

1. 前任者の意見の聴取
2. 既存資料の検討
3. 全戸訪問の実施
4. 郵送調査の実施

〔問題 31〕 次世代育成支援対策の事業の進行管理で適切なのはどれか。

1. 育児ニーズ調査の実施
2. 事業評価目標の設定
3. 予算執行状況の把握
4. 首長への逐時の報告

〔問題 32〕 適正体重の維持と望ましい生活習慣の獲得とを目標にした肥満予防教室の結果評価の項目はどれか。

1. 開催時間の適否
2. 参加予定者の出席率
3. 参加者の高血圧症発症率
4. 参加者の運動実施率

〔問題 33〕 市で作成した「健康日本 21」の地方計画を推進していくための作業部会で適切なものはどれか。

1. 目標達成のための具体的な期限を定める。
2. 毎回目標値の確認をする。
3. メンバーは固定しない。
4. 年 2 回開催する。

〔問題 34〕 新しい健康づくり計画を市のホームページに掲載し、健康づくり教室で市の方針を説明するなど、住民への積極的な広報活動を行った。

この行動はどれか。

1. 共同参画
2. 個人情報保護
3. アカウンタビリティ
4. インフォームド・コンセント

〔問題 35〕 保健師の対人支援能力を向上させるための職場内教育で適切なのはどれか。

1. 事例検討
2. ディベート
3. 人事交流
4. 専門家の講義

〔問題 36〕 次年度の予算要求に当たり、市町村の保健師が用意すべき資料で優先度が低いのはどれか。

1. 昨年度の事業の要求額
2. 今年度の事業実施状況
3. 今年度の他機関の関連事業実施状況
4. 市町村の保健福祉計画

〔問題 37〕 軽度発達遅滞児の母親たちがセルフヘルプグループ活動を開始した。2回目の会合終了後、数人の母親から本音の話し合いになっていないと相談があった。

助言で正しいのはどれか。

1. 「会の代表者を早く決めましょう」
2. 「積極的に発言を促しましょう」
3. 「ゲームなどで楽しく過ごしましょう」
4. 「焦らず話し合いを続けましょう」

〔問題 38〕 健康づくり活動の推進にあたり、地縁組織を活用しようと考えた。

理由で適切でないのはどれか。

1. 小学校区単位に人選ができる。
2. 構成員の選出方法を順番制にできる。
3. 行政サービス情報が浸透しやすい。
4. セルフヘルプグループに発展しやすい。

〔問題 39〕 介護予防の効果的な推進のために、地域ケアシステムの課題を検討する

ときの情報で優先度が高いのはどれか。

1. 老人保健法による機能訓練利用者の実態
2. 介護支援専門員の待遇
3. 訪問看護ステーションの数
4. 地域の一般病床数

〔問題 40〕 介護保険制度のサービス担当者会議で適切なのはどれか。

1. 新規要介護認定時および要介護認定更新時に開催する。
2. 介護支援専門員が提出した居宅サービス計画に基づき役割分担する。
3. 調整が難航した場合は利用者や家族の意向を優先する。
4. 企画運営は在宅介護支援センターが行う。

〔問題 41〕 経験2年の養護教諭が行うことができるのはどれか。

- a. 保健主事の任を担う。
- b. 保健の教科を担当する。
- c. スクールカウンセラーを兼務する。
- d. 保健室経営計画を立案する。

1. a、b
2. a、d
3. b、c
4. c、d

〔問題 42〕 平成 14 年度の児童虐待に関する児童相談所への相談で最も多いのはどれか。

1. 0 歳から 3 歳未満
2. 3 歳から学齢前児童
3. 小学生
4. 中学生

〔問題 43〕 労働安全衛生法による歯科の健康診断で正しいのはどれか。

1. 雇い入れ時の健康診断項目である。
2. 40 歳以上の職員を対象とする定期の健康診断である。
3. 有機溶剤使用業務に従事する職員を対象とする特殊健康診断である。
4. 海外派遣労働者を対象とする特殊健康診断である。

〔問題 44〕 高圧室作業の多い A 企業(従業員 1,000 人)で人事を担当していた 50 歳の事務管理職者が虚血性心疾患で死亡した。昨年健康診断では異常はなかった。過労死であったことを申請する根拠はどれか。

1. 労働安全衛生法
2. 高気圧作業安全衛生規則
3. 労働災害の認定基準
4. 事務所衛生基準規則

〔問題 45〕 デスクワーク中心の職場で、腰痛を訴える職員が多いという相談が健康管理室の保健師に寄せられた。対策として、職場で昼休みに腰痛予防体操をするよう勧めた。

これにあたるのはどれか。

1. 作業管理
2. 労務管理
3. 健康管理
4. 総括管理

〔問題 46〕 地域型在宅介護支援センターで正しいのはどれか。

1. ボランティアグループの育成
2. 市町村に1か所の設置
3. 介護支援専門員連絡調整会議の運営
4. 生活支援サービスの総合調整

〔問題 47〕 健康保険法による訪問看護サービスで正しいのはどれか。

1. 自己負担は3割である。
2. 訪問看護の提供回数に制限はない。
3. 医療依存度の高い在宅療養者に限られる。
4. 介護支援専門員がケアプランを作る。

〔問題 48〕 介護予防・地域支え合い事業としての「食」の自立支援事業で適切なのはどれか。

1. 中高年男性を対象に料理教室を計画する。
2. 町内の飲食店を対象に栄養成分表示を推進する。
3. 配食サービスのための高齢者対象の実態調査を実施する。
4. グループホームの調理担当者に栄養指導を行う。

〔問題 49〕 応急仮設住宅が規定されているのはどれか。

1. 災害救助法
2. 災害対策基本法
3. 被災者生活再建支援法
4. 生活保護法

〔問題 50〕 災害予防対策としての保健師活動で適切なのはどれか。

1. 災害時要援護者の所在把握
2. 避難所の生活環境整備
3. 職員の健康管理
4. ボランティアのコーディネート

〔問題 51〕 個人情報保護に関する法律で個人情報取扱事業者に該当するのはどれか。

1. 労働基準監督署
2. 児童相談所
3. 保健所
4. 訪問看護ステーション

〔問題 52〕 地方自治体の予算の原則で正しいのはどれか。

1. 執行の前に議会に報告される。
2. 本予算が成立しない場合は補正予算が執行される。
3. 収入と支出はすべて予算に計上される。
4. 複数年で効率的に執行される。

〔問題 53〕 下痢で入院中の乳児の便からペロ毒素陽性の腸管出血性大腸菌 O 157 が検出され、病院の医師から感染症患者発生の届出があった。

保健所の対応で正しいのはどれか。

1. 医師に食中毒患者発生届の提出を求める。
2. 患者に感染症指定医療機関への入院を勧告する。
3. 感染症の診査に関する協議会を招集する。
4. 疫学調査を行う。

〔問題 54〕 平成 14 年度の国民医療費で正しいのはどれか。

1. 総額が初めて 35 兆円を超えた。
2. 国民 1 人当たり医療費は約 24 万円である。
3. 国民所得に対する割合は約 3 % である。
4. 財源の約半分は公費で賄われている。

〔問題 55〕 平成 15 年に行われたのはどれか。

1. 1 歳 6 か月児健康診査の法定化
2. 新エンゼルプランの策定
3. 児童虐待の防止等に関する法律の制定
4. 次世代育成支援対策推進法の制定

〔問題 56〕 二次医療圏単位で病床規制の対象となるのはどれか。

1. 診療所の一般病床
2. 診療所の療養病床
3. 病院の新生児ベッド
4. 病院の結核病床

〔問題 57〕 「健やか親子 21」が目指す国民運動計画の目標で正しいのはどれか。

1. 10代の自殺率の半減
2. 妊産婦死亡率の半減
3. 周産期死亡率の半減
4. 合計特殊出生率の増加

〔問題 58〕 医療計画で策定すべき事項に含まれないのはどれか。

1. 患者への最新医療情報の提供
2. 医療を担う人材確保
3. 医療施設間の相互連携
4. 救急医療体制の整備

〔問題 59〕 胃癌とアスベスト曝露の関係を調べるための症例対照調査の結果を表に示す。 χ^2 検定では危険率 5 % で有意ではなかった。

(単位：人)

	アスベスト 曝露あり	アスベスト 曝露なし	計
患者群	16	24	40
対照群	8	32	40
計	24	56	80

$$\chi^2 = 3.81 \quad \chi^2(p = 0.05) = 3.84$$

解釈で正しいのはどれか。

1. アスベスト曝露が胃癌の原因である。
2. アスベスト曝露が胃癌の発生に大きく影響している。
3. アスベスト曝露と胃癌の発生は無関係である。
4. 偶然の結果で有意にならなかった危険がある。

〔問題 60〕 受療率の計算に必要なのはどれか。

1. 1 年間に発生した患者数
2. 1 年間に発生した有症状者数
3. ある時点の疾病を有する者の数
4. ある時点の医療機関を受診している者の数

〔問題 61〕 基本健康診査の結果を表に示す。

(単位：人)

疾病A疑い	疾病A疑いのうち 確定診断数	疾病A治療中	疾病Aなし	受診者数
900	150	100	9,000	10,000

受診者における疾病Aの有病率はどれか。

1. 1.5%
2. 2.5%
3. 10.0%
4. 16.7%

〔問題 62〕 ある高齢者施設の入所者に感染症が集団発生した。その結果を表に示す。

(単位：人)

入所者数	発症者数	入院者数	死亡者数
250	100	30	10

致命率はどれか。

1. 4%
2. 10%
3. 33%
4. 40%

〔問題 63〕 ある国の調査で判明した、1日25本以上喫煙する大量喫煙者と非喫煙者の特定死因の死亡率を表に示す。

	死亡率(人口1,000対)	
	大量喫煙者	非喫煙者
肺 癌	2.27	0.07
大腸癌	2.59	1.91
慢性気管支炎	1.06	0.05
虚血性心疾患	9.93	7.32

寄与危険度が最も高い疾患はどれか。

1. 肺 癌
2. 大腸癌
3. 慢性気管支炎
4. 虚血性心疾患

〔問題 64〕 多量飲酒者2,000人と非飲酒者3,000人とを5年間追跡し、多量飲酒者から200人、非飲酒者から150人のがん罹患を確認した。

多量飲酒のがん罹患に対するリスク比はどれか。

1. 0.29
2. 0.50
3. 2.00
4. 2.11

〔問題 65〕 ある市の中学校 10 校を無作為に 2 群に分け、片方に新しい性感染症予防教育を実施し、もう一方に性感染症のパンフレットを配布した。その前後に予防行動について意識調査を行った。

この調査方法はどれか。

1. 生態学的調査
2. 横断的調査
3. 前向きコホート調査
4. 地域介入調査

〔問題 66〕 多量飲酒と肺癌に関する症例対照調査を実施した。多量飲酒の肺癌発生に対するオッズ比は 2.0 であったが、多量飲酒と喫煙との関連が強いため、喫煙有無別に集計した。喫煙有群、喫煙無群ともにオッズ比は 1.0 となった。

多量飲酒と肺癌との関係に影響を与えている喫煙の作用はどれか。

1. 危険因子
2. 交絡因子
3. 情報バイアス
4. 選択バイアス

〔問題 67〕 基本健康診査の結果を中学校区別(人口数千人単位)に集計した。総コレステロール値が高い者の校区別割合に差があった。

次に行うことで正しいのはどれか。

1. 年齢調整をして比較する。
2. 症例対照調査を企画する。
3. 小学校区別に集計する。
4. 回帰分析を行う。

〔問題 68〕 集団健診で行うスクリーニング検査の特異度が低い場合の問題点はどれか。

1. 判定に時間がかかる。
2. 測定者によって結果に変動が起こる。
3. 患者の見落としが多くなる。
4. 精密検査の対象が増える。

〔問題 69〕 感染症のアウトブレイクで正しいのはどれか。

1. 国内常在感染症では起こらない。
2. 動物由来感染症では起こらない。
3. 国際的な流行をいう。
4. 天然痘では1例でも発生した場合をいう。

〔問題 70〕 小学校で下痢、腹痛を発症した児童が集団発生し、原因曝露日と推定された日の学校給食の喫食調査を行った。結果を表に示す。

	食べた		食べない		(人)	相対危険度
	発症	未発症	発症	未発症		
パン	95	200	5	20		1.6
牛乳	98	190	2	30		5.4
サラダ	70	170	30	50		0.8
焼魚	40	10	60	210		3.6

解釈で正しいのはどれか。

1. パンが原因食品である可能性が低い。
2. 牛乳が原因食品である可能性が高い。
3. サラダは予防要因である可能性が高い。
4. 焼魚が原因食品である可能性が高い。

〔問題 71〕 近年の心疾患の疫学で正しいのはどれか。

1. 死因順位は3位である。
2. 虚血性心疾患の年齢調整死亡率が増えている。
3. 脳血管疾患よりも入院受療率が低い。
4. 疾病登録事業で罹患率が把握されている。

〔問題 72〕 二次予防として有効性が認められているがん検診はどれか。

1. ピロリ菌抗体検査による胃がん検診
2. 超音波検査による乳がん検診
3. 細胞診による子宮体がん検診
4. 便潜血反応検査による大腸がん検診

〔問題 73〕 ある集団 1,000 人の体重を測定した結果、平均値 55 kg、標準偏差 5 kg で正規分布を示した。

正しいのはどれか。

1. 中央値は平均値よりも大きい。
2. 55 kg から 65 kg の範囲におよそ 339 人いる。
3. 60 kg 以上のおよそ 49 人である。
4. 45 kg 以下のおよそ 23 人である。

〔問題 74〕 生命表で正しいのはどれか。

1. 0 歳の平均余命が平均寿命である。
2. 我が国の 65 歳の平均余命は平成 10 年以降伸びていない。
3. 平均寿命は市町村別に算出できない。
4. がんで死亡する人がなくなると平均寿命は 10 歳以上延びる。

〔問題 75〕 保健統計調査で正しいのはどれか。

1. 国民生活基礎調査の大規模調査は 3 年ごとに実施される。
2. 医療施設調査は病院と診療所それぞれから 10 % を無作為に抽出して行う。
3. 国民健康・栄養調査に血液検査は含まれない。
4. 患者調査は悉皆調査である。

